



SIP プロファイルの設定

SIP プロファイルは、SIP トランクおよび SIP エンドポイントに関連付けられている一連の SIP 属性から構成されます。SIP プロファイルには、名前、説明、タイミング、リトライ、コール ピックアップ URI などの情報が含まれます。このプロファイルには、削除も変更もできない標準エントリがいくつかあります。

SIP プロファイルの検索と設定をするには、次のトピックを参照してください。

- [SIP プロファイルの検索 \(P.92-2\)](#)
- [SIP プロファイルの設定 \(P.92-3\)](#)
- [SIP プロファイルの設定値 \(P.92-4\)](#)
- [SIP プロファイルの削除 \(P.92-10\)](#)
- [SIP プロファイルのリセット \(P.92-11\)](#)
- [関連項目 \(P.92-12\)](#)

SIP プロファイルの検索

[SIP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Profiles)] ウィンドウを使用して、SIP プロファイルを検索する手順は、次のとおりです。この機能は、次のカテゴリに基づいて、あらゆるタイプの SIP プロファイルを検索します。

- [名前]
- [説明]

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [SIP プロファイル] の順に選択します。

[SIP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Profiles)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#)に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.92-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

SIP プロファイルの設定

SIP プロファイルを追加、コピー、または更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [SIP プロファイル] の順に選択します。

[SIP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Profiles)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存の SIP プロファイルをコピーする場合は、適切な SIP プロファイルを見つけ (P.92-2 の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照)、コピーする SIP プロファイルの横にある [コピー] ボタンをクリックして、[ステップ 3](#)に進みます。
- 新しい SIP プロファイルを追加する場合は、[新規追加] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#)に進みます。
- 既存の SIP プロファイルを更新する場合は、適切な SIP プロファイルを見つけ (P.92-2 の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照)、[ステップ 3](#)に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 92-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

P.92-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

SIP プロファイルの設定値

表 92-1 では、[SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.92-12 の「関連項目」を参照してください。

表 92-1 SIP プロファイルの設定値

フィールド	説明
[SIP プロファイル情報 (SIP Profile Information)]	
[名前]	SIP プロファイルを識別する名前を入力します (たとえば「SIP_7905」)。この値には、1 ~ 50 文字 (英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む) を指定できます。
[説明]	SIP プロファイルの目的を指定します (たとえば「SIP for 7970」)。
[デフォルト MTP テレフォニー イベントペイロードタイプ (Default MTP Telephony Event Payload Type)]	<p>RFC2833 テレフォニー イベントのデフォルト ペイロード タイプを指定します。詳細については、RFC 2833 を参照してください。ほとんどの場合は、デフォルト値が適切なペイロードタイプです。変更すると DTMF トーンの受信や生成ができなくなる可能性があるため、必ずこのパラメータをよく理解した上で変更してください。デフォルト値は 101 です。96 ~ 127 の範囲で指定できます。</p> <p>このパラメータの値は、次の状態のコールに影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが、Cisco Unified Communications Manager からの発信コールである。 • 発信 SIP トランクに対して、SIP の [トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウの [メディアターミネーションポイントが必須 (Media Termination Point Required)] チェックボックスがオンである。
[アプリケーションによるリダイレクト (Redirect by Application)]	<p>このチェックボックスをオンにして、SIP トランクにこの SIP プロファイルを設定すると、Cisco Unified Communications Manager 管理者は次の操作を行うことができますようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3xx 応答で受信されるリダイレクト コンタクトに特定のコーリング サーチスペースを適用する。 • リダイレクト コンタクトにディジット分析を適用し、コールが正しくルーティングされることを確認する。 • サービス パラメータが設定できるリダイレクション (再帰リダイレクション) の数を制限することにより、DOS 攻撃 (サービス拒否攻撃) を防止する。 • リダイレクション中に他の機能を起動できるようにする。 <p>制限付きの電話番号 (国際番号など) にリダイレクトされるということは、スタック レベルでリダイレクションを処理すると、コールはブロックされずにルーティングされることを意味します。これは、[アプリケーションによるリダイレクト (Redirect by Application)] チェックボックスがオフの場合の動作です。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「リダイレクション」を参照してください。</p>

表 92-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[180 で早期メディアを無効化 (Disable Early Media on 180)]	<p>デフォルトでは、Cisco Unified Communications Manager は、180 応答または 183 応答で SDP が受信されない場合、ローカル リングバックを再生するように、発信側の電話機に信号を送ります。180 応答または 183 応答に SDP が含まれている場合、ローカルでリングバックが再生されず、Cisco Unified Communications Manager はメディアを接続し、発信側の電話機は着信側のデバイスが送信するトーン (リングバックやビジー信号など) を再生します。リングバックを受信しない場合は、接続先のデバイスが 180 応答に SDP を含めているが、200OK 応答の前にメディアを送信していない可能性があります。その場合は、このチェックボックスをオンにして、発信側の電話機でローカル リングバックを再生し、200OK 応答の受信時にメディアを接続します。</p> <p> (注) リングバックを受信する電話機は発信側の電話機ですが、着信側デバイスのプロファイル設定でこの動作が決まるため、着信側デバイスのプロファイルでこの設定が必要となります。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「初期メディアの使用」を参照してください。</p>
[電話で使用されるパラメータ (Parameters used in Phone)]	
[インバイトのタイムアウト値 (Timer Invite Expires、秒)]	SIP INVITE が期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。Expires ヘッダーはこの値を使用します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 180 です。
[レジスタの再送間隔 (Timer Register Delta、秒)]	このパラメータは、[レジスタのタイムアウト値 (Timer Register Expires)] の設定値と共に使用します。電話機は、登録期間が終わる [レジスタの再送間隔 (Timer Register Delta)] 秒前に再登録します。登録期間は、SIP Station Keepalive Interval サービス パラメータの値によって決まります。有効値の範囲は 32767 ~ 0 です。デフォルトは 5 です。
[レジスタのタイムアウト値 (Timer Register Expires、秒)]	SIP 電話機が REGISTER メッセージの Expires ヘッダーで送信する値を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルト値は 3600 (1 時間) です。REGISTER への 200OK 応答で、Cisco Unified Communications Manager は、SIP Station KeepAlive Interval サービス パラメータの設定値を含む Expires ヘッダーを指定します。200OK 内のこの値によって、登録が期限切れになるまでの時間 (秒数) が決まります。電話機は、この期間が終わる [レジスタの再送間隔 (Timer Register Delta)] 秒前に登録をリフレッシュします。
[タイマー T1 (Timer T1、ミリ秒)]	SIP メッセージの再送信タイマーの最小値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 500 です。
[タイマー T2 (Timer T2、ミリ秒)]	SIP メッセージの再送信タイマーの最大値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 4000 です。
[インバイトの再試行値 (Retry INVITE)]	INVITE 要求が再送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 6 です。
[非インバイトの再試行値 (Retry Non-INVITE)]	INVITE 要求以外の SIP メッセージが再送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 10 です。

表 92-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[開始メディアポート (Start Media Port)]	メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の始まりを指定します。メディア ポート範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 16384 です。
[終了メディアポート (Stop Media Port)]	メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の終わりを指定します。メディア ポート範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 32766 です。
[コールピックアップ URI (Call Pickup URI)]	この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップ機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。
[コールピックアップグループ別 URI (Call Pickup Group Other URI)]	この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップ グループの他の機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。
[コールピックアップグループ URI (Call Pickup Group URI)]	この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップ グループ機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。
[ミーティングサービス URI (Meet Me Service URI)]	この URI では、SIP 電話機がミーティング会議機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。
[ユーザ情報 (User Info)]	REGISTER メッセージ内の user= パラメータを設定します。 有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [None] : 値は挿入されません。 • [Phone] : REGISTER の To ヘッダー、From ヘッダー、および Contact ヘッダーに user=phone という値が挿入されます。 • [IP] : REGISTER の To ヘッダー、From ヘッダー、および Contact ヘッダーに user=ip という値が挿入されます。
[DTMF DB レベル (DTMF DB Level)]	インバンド DTMF デジタルのトーン レベルを指定します。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 : [6 dB below nominal] • 2 : [3 dB below nominal] • 3 : [Nominal] • 4 : [3 dB above nominal] • 5 : [6 dB above nominal]
[コール保留時の呼び出し音 (Call Hold Ring Back)]	保留中のコールがある状態で別のコールで話をしていて、そのコールを切った場合、このパラメータがオンであると、電話機の呼び出し音が鳴って、まだ他に保留中の相手がいることを通知されます。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Off] : 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。 • [On] : 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。

表 92-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[匿名コールブロック (Anonymous Call Block)]	番号非通知呼び出しのブロックを設定します。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [Off] : 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。 [On] : 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。
[発信者 ID ブロック (Caller ID Blocking)]	発信者 ID のブロッキングを設定します。ブロッキングが使用可能である場合、電話機はそれ自身の番号または電子メールアドレスを、発信者識別が使用可能な電話機からブロックします。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [Off] : 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。 [On] : 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。
[サイレントコントロール (Do Not Disturb Control)]	Do Not Disturb (DND; サイレント) 機能を設定します。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> [ユーザ] : 電話機の dndControl パラメータが 0 になります。 [管理者] : 電話機の dndControl パラメータが 2 になります。
[7940 と 7960 の Telnet レベル (Telnet Level for 7940 and 7960)]	Cisco Unified IP Phone 7940 と 7960 は、ログイン アクセス用の SSH をサポートせず、ログ収集に使用される HTTP もサポートしません。ただし、これらの電話機は、Telnet をサポートします。ユーザは、Telnet を使用して、電話機を制御したり、デバッグを収集したり、設定値を表示したりできます。このフィールドでは、指定可能な次の値で telnet_level 設定パラメータを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> [無効] (アクセス不能) [制限付き] (一部のアクセスは可能だが、特権コマンドを実行できない) [有効] (フル アクセス)
[キープアライブのタイムアウト値 (Timer Keep Alive Expires、秒)]	Cisco Unified Communications Manager では、冗長性のサポートにキープアライブ メカニズムが必要です。このフィールドでは、フェールオーバーが必要になったときにバックアップ Cisco Unified Communications Manager が使用可能であることを保証するために、バックアップ Cisco Unified Communications Manager に送信されるキープアライブ メッセージの間隔を指定します。
[サブスクライブのタイムアウト値 (Timer Subscribe Expires、秒)]	サブスクリプションが期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。この値は、Expires ヘッダー フィールドに挿入されません。有効値は任意の正数です。デフォルト値は 120 です。
[サブスクライブの再送間隔 (Timer Subscribe Delta、秒)]	このパラメータは、[サブスクライブのタイムアウト値 (Timer Subscribe Expires)] の設定値と共に使用します。電話機は、サブスクリプション期間 ([サブスクライブのタイムアウト値 (Timer Subscribe Expires)] によって管理) が終わる [サブスクライブの再送間隔 (Timer Subscribe Delta)] 秒前に再サブスクライブします。有効値の範囲は 3 ~ 15 です。デフォルトは 5 です。

表 92-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[最大リダイレクト (Maximum Redirections)]	この設定変数を使用して、コールをドロップする前に電話機がコールのリダイレクトを許可する最大回数を指定します。デフォルトは 70 回のリダイレクトです。
[オフフックから最初の数字タイマー (Off Hook To First Digit Timer、マイクロ秒)]	電話の受話器が外されてから最初のディジットタイマーが設定されるまでの経過時間をミリ秒で指定します。値は 0 ~ 15,000 ミリ秒です。デフォルトは 15,000 ミリ秒です。
[コール転送 URI (Call Forward URI)]	この URI では、SIP 電話機が自動転送機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。
[固定短縮ダイヤル URI (Abbreviated Dial URI)]	この URI では、SIP 電話機が固定短縮ダイヤル機能を起動するために Cisco Unified Communications Manager に送信する固有のアドレスを指定します。 回線キーに関連付けられていない短縮ダイヤル (固定短縮ダイヤルインデックス) は、電話機にダウンロードされません。電話機は、機能表示メカニズム (Call-Info ヘッダーを含む INVITE) を使用して、固定短縮ダイヤル番号がいつ入力されたかを示します。要求 URI には固定短縮ダイヤルディジット (たとえば 14) が含まれ、Call-Info ヘッダーには固定短縮ダイヤル機能が示されます。Cisco Unified Communications Manager は、固定短縮ダイヤルディジットを、設定済みの数字列に変換し、コールをその数字列で拡張します。固定短縮ダイヤルディジットに対して数字列が設定されていない場合、電話機に 404 Not Found 応答が返されます。
[会議参加が有効 (Conference Join Enabled)]	このチェックボックスでは、Cisco Unified IP Phone 7940 または 7960 を使用している会議開始者が電話を切った場合、その電話機が残りの会議参加者を参加させようとするかどうかを指定します。残りの会議参加者を参加させる場合は、このチェックボックスをオンにします。残りの会議参加者を参加させない場合は、このチェックボックスをオフのままにします。  (注) このチェックボックスは、SRST モードの Cisco Unified IP Phone 7941/61/70/71/11 だけに適用されます。
[RFC 2543 保留 (RFC 2543 Hold)]	コール保留の信号が Cisco Unified Communications Manager に送信される場合、RFC2543 に従って接続アドレスを 0.0.0.0 に設定できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。この操作により、RFC3264 をサポートしないエンドポイントとの下位互換性を確保できます。

表 92-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[準在席転送 (Semi Attended Transfer)]	<p>このチェックボックスでは、Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 の発信者が、コールの呼び出し音が鳴っているときに、在席転送の 2 番目のレッグを転送できるかどうかを指定します。準在席転送を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。準在席転送を使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。</p> <p> (注) このチェックボックスは、SRST モードの Cisco Unified IP Phone 7941/61/70/71/11 だけに適用されます。</p>
[VAD の有効化 (Enable VAD)]	<p>Voice Activation Detection (VAD) を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。VAD を使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。VAD が使用可能である場合、音声検出時にメディアは伝送されません。</p>
[スタッタメッセージ待機 (Stutter Message Waiting)]	<p>電話機がオフフックになったときにメッセージが待機していると、スタッター ダイアル トーンが聞こえるようにする場合は、このチェックボックスをオンにします。メッセージが待機していてもスタッター ダイアル トーンが聞こえないようにする場合は、オフのままにします。</p>
[コールの統計 (Call Stats)]	<p>BYE 要求および BYE 応答の RTP 統計情報を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。BYE 要求および BYE 応答の RTP 統計情報を使用不可にする場合は、オフのままにします。</p> <p>このチェックボックスがオンである場合、電話機は次のようなヘッダー RTP-RxStat および RTP-TxStat を挿入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RTP-RxStat: Dur=a,Pkt=b,Oct=c,LatePkt=d,LostPkt=e,AvgJit=f • RTP-TxStat: Dur=g,Pkt=h,Oct=i <p>それぞれの説明は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dur: 受信開始または送信開始からの合計秒数。 • Pkt: 受信または送信された RTP パケットの合計数。 • Oct: 受信または送信された RTP ペイロード オクテットの合計数 (RTP ヘッダーは含みません)。 • LatePkt: 受信された RTP パケットの合計遅延数。 • LostPkt: 受信された RTP パケットの合計損失数 (RTP パケットの遅延は含みません)。 • AvgJit: 平均ジッタ。これは、タイムスタンプ単位で測定され、RFC 1889 に従って算出された、RTP パケット到達時間ごとの統計的なばらつきの概算値です。 • a、b、c、d、e、f、g、h、i: 整数。

SIP プロファイルの削除

SIP プロファイルを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

SIP プロファイルを使用しているデバイスを検索するには、[SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] リンクを選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** 削除する SIP プロファイルを見つけます。[P.92-2](#) の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 2** [SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウで、[削除] をクリックします。
- この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 3** SIP プロファイルを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。
-

追加情報

[P.92-12](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

SIP プロファイルのリセット

SIP プロファイルをリセットする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理ページから、[デバイス] > [デバイスの設定] > [SIP プロファイル] の順に選択します。

ステップ 2 リセットする SIP プロファイルを見つけます。P.92-2 の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照してください。

ステップ 3 リセットする SIP プロファイルをクリックします。

[SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [リセット] をクリックします。

[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログが表示されます。

ステップ 5 次のいずれかの項目をクリックします。

- [リスタート]: 選択されたデバイスをシャットダウンせずに、再起動する (Cisco Unified Communications Manager に電話機とトランクを再登録する)。
 - [リセット]: デバイスをシャットダウンして、もう一度起動する。
 - [閉じる]: 何も実行しないで、[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログを閉じる。
-

追加情報

P.92-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [SIP プロファイルの検索 \(P.92-2\)](#)
- [SIP プロファイルの設定 \(P.92-3\)](#)
- [SIP プロファイルの設定値 \(P.92-4\)](#)
- [SIP プロファイルの削除 \(P.92-10\)](#)
- [SIP プロファイルのリセット \(P.92-11\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.82-3\)](#)
- [トランクの設定 \(P.83-3\)](#)
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「セッション開始プロトコル (SIP) の概要」